

日南町『まちづくりアンケート』分析結果に関して寄せられたご意見と、ご意見に対する考え方

平成30年11月に、日南町『まちづくりアンケート』を実施しました。

アンケートの集計及び分析結果を日南町ホームページ上で公開し、併せてパブリックコメントを実施しました。

パブリックコメント実施期間が終了しましたので、応募のあったご意見を公開します。

今回いただいたご意見は、2020年度からスタートする「第6次日南町総合計画」策定の参考にさせていただきます。（総合計画の策定は2019年度です）

【1.パブリックコメントの募集】

- 募集期間 平成31年4月3日（水）～平成31年4月22日（月）
- 意見件数 5件（応募人数 5名）

【2.意見の内容】

	ご意見	ご意見に対する考え方
1	資料を拝見しまして、町の現状と課題を、町民の声も加えて浮き彫りにされており、大変興味深いものでした。課題の多くは、町内のみならず、全国的な問題でもあることから、簡単に解決するものではないでしょう。それに対する具体策を挙げれば、賛成も反対も出るとは思いますが、何をやるにもお金は掛かるわけですから、費用対効果が最大となる施策をして戴きたいと思えます。自由記載欄のコメントについて、電車とバスの連絡の悪さなど、なんとかならないものなのでしょうか、デマンドバスの予約もしかり、また医療については、通信による遠隔診療などが可能ではないのかなあ等々、行政側の回答（意見）を聞きたいと思えました。	人口減・少子高齢化を背景に解決していかなければならない課題は山積しています。一方、財政面では予算規模の縮小は必至です。その様な環境下にあつて今後はご指摘の通り“費用対効果が最大となる施策”がより求められてきます。現在、町では「総合計画」とは別途に「行財政改革」の取組を進めており、今後の施策に反映させていきます。“電車とバスの連絡の悪さ”は「公共交通総合計画」を今年度改定予定であり、その中で検討していきます。“通信による遠隔診療など”は、「AI」の活用が社会的にも広がりを見せており、町でも積極的に検討していきたいと思えます。

	ご意見	ご意見に対する考え方
2	<p>日南町で子育てをしています。自然豊かな町の環境と、顔の見える子育て支援の体制にとっても満足しています。手厚い子育て環境の充実を継続していただくと同時に、週末に子どもたちが集まり、遊びに向き合える空間づくり、親子一緒に成長していける場づくりをお願いしたいです。</p> <p>山陰地方ならではの雨と雪、また炎天下での外遊びにも限界がある一方で、近隣に屋内で遊ぶことのできる場所は商業施設を含めても数えるほどしかありません。町内では友達の家も点在しており、必然的に室内でテレビやゲームに依存せざるを得ないのが現状です。こうして遊びの孤立化が加速する中、遊びを通して人との関わり方を学び、何事にもじっくりと、また主体的に関わる姿勢など人間の土台が形成されていく時期に、十分に遊びきれていない日南町の子どもたちの現状に、もったいなさを感じます。</p> <p>さらには、町の9割を占める森林を更に子育てや教育に取り入れていただきたく要望します。町役場、子育て支援センター、介護施設など町産材でつくられた心地よい空間には誰もが好印象を受けるかと思えます。さらに町産材の利用促進と付加価値の創造という点において、切り口となるのが「木のおもちゃ(木育)」であると感じます。子どものころから遊びを通して自然と木を身近に感じる体験は、この町で成長する子どもたちの特権にもなりえます。森林のある町に住む子どもたちと彼らに関わる大人が、木の温もりと人との交わりの中で成長し合う、その豊かさに大きな価値を感じます。思わず手に取ってみたいくなる、親子で夢中になれる、そんな木のおもちゃが親子間のみならず、地域内でのコミュニケーションをより一層促すと考えます。そのような木を中心に据えた子どもたちの遊び場、イベント拠点となる開放された空間が町内にあることを望みます。</p>	<p>町内の子育て環境の充実については注力している分野のひとつであり、一定の評価をいただいていると考えています。</p> <p>一方、人口減少や少子化は確実に進んでおり、子どもの数は減ってきており、益々子育て環境充実への施策は重要になってきています。</p> <p>日南町の森林を生かした、日南町ならではの「遊び場」や「木育」への取組はこれから求心力が高まるものであり、具体的な取組を検討する必要があると考えます。</p> <p>ご意見にある通り“人間の土台が形成されていく時期”をどう過ごすかは、大袈裟ではなく人生を左右する重要な事柄です。</p> <p>また、子育ては「家庭」のみならず、「地域」が主体となって取組んでいく必要があると考えます。</p> <p>『まちづくりアンケート』の結果や今回のご意見を参考に、これからの「まちづくり」に取組んでいかなければなりません。</p>
3	<p>問4・問5「中心地域への健康増進施設」の整備について</p> <p>一概に「健康増進施設」といっても、どの程度の規模を想定しているのか。</p> <p>またターゲットをどの世代、性差、体力年齢等を想定されているのが不透明である。</p> <p>分析結果にあるように、幅広いターゲットを想定した施設となれば、結果として中途半端な施設となり、費用対効果の面からも重荷として次世代へ継承していかなくてはならない。</p> <p>日南町の将来人口等を鑑みれば、必要以上のハード整備は避けるべきであり、経済的循環、関係・交流人口を生み出すための拠点づくりに投資すべきである。既存の施設を利活用し、女性が子育てをしながら新たな産業を生み出すコワーキングスペースの整備や、日南町の面積の9割を占める森林を身近に感じ、親子・世代間が交流できる木育ひろば等の交流拠点を整備することで、まちにとって新たな経済循環、関係・交流人口を創出し、持続可能なまちづくりに寄与することができる。</p>	<p>「健康増進施設」の規模・ターゲット層が不透明とのご意見ですが、今回のアンケート分析結果を通じて具体化を検討していくものです。</p> <p>若年層(20代~40代)に整備希望が多いことから、その年代層に向けて整備すべきか、もっと全世代へ向けて整備とすべきか、費用対効果の面も十分に検討して進めていきたいと考えます。</p> <p>ご意見にある森林を活かした広場・交流拠点等の希望は、アンケート結果にも表れており具体化への検討を進めてまいります。</p>

	ご意見	ご意見に対する考え方
4	<p>日南町『まちづくりアンケート』分析結果について少し意見を書かせていただきます。</p> <p>私は日南町で子育てをしながら働いています。</p> <p>日南町はここ近年で保育料が無償化し、今年からは小中学生のバスの通学費が無償化と、子育て世代には非常にありがたいと感じています。</p> <p>しかし一方、これらの無償化の施策は将来的に日南町の子供たちがふるさとへ帰ってきて、就職し結婚し子育てしたいと思う事にはつながらないような気もしています。経済的な負担を軽減いただけることは、確かに非常にうれしいのですが、それより子供が急に体調を崩した時に診ていただける医療機関（週2回では無いのと同じ。子供は先生が来られるときに病気にはなりません）がある安心感や、日南町の保小中一貫教育システムを活かした県内NO.1の学力を習得できる教育があるまちというのは、他地域からの子育て世代の移住に繋がらないでしょうか？親の仕事の関係もあります。道路整備が進んだ今日、1時間程度の通勤距離は十分居住区域となるような気がします。このまちで子供を育てたいと親が思える大胆な施策（学力全国NO.1の町など）を町には期待します。無料化の施策は根本的なまちの魅力向上や定住には繋がらないような気がしました。</p> <p>また、健康増進施設に関してはターゲットが明らかになっていますので、整備されるのであれば、しっかりと利用されるものをお願いします。（対象が少なければ整備しないという選択肢もあり）</p> <p>また中心地についてですが、日南町はこれだけ緑が豊かなのに、親子が過ごせる公園のようなものが少ないので、芝生の広場は全ての世代がうれしいのではないかと思います。</p>	<p>子育て施策としての「保育料無償化」「バスの通学費無償化」については、一定の評価を得ており、今後も十分な効果検証を行いながら施策の継続判断を行っていきたいと考えます。</p> <p>医療機関（とりわけ小児科）の充足は、日南町の課題であり、「総合戦略」のKPIとして取組んでいるところです。</p> <p>■KPI：「小児科医の勤務日数」【現在】週2日⇒【目標】週5日</p> <p>しかし、週2日より改善していないのが現実であり、ご意見にある通り子育て層の安心感が満たされていないと考えています。今後とも小児科医の充足については、日南病院を中心に努力継続していくものです。</p> <p>学力向上も子育て世代には大きな関心があるところです。ご意見にある“大胆な施策”は小さな町だからこそ出来ることと捉え検討していきたいと考えます。</p> <p>「健康増進施設」の検討、「中心地域の整備」の検討、いずれも『まちづくりアンケート』の分析結果や今回のご意見を参考に検討を進めてまいります。</p>
5	<p>町づくりアンケート結果を見たところ、「衣食住の充実・雇用振興」が町の人が望んでいる事である事が見て取れました。この二つが突出している背景には「若い人に日南町に居付いて欲しい」「本当は住みたいけど…」という思いがあるように思います。日本国全体で人口が減少している中、以下の三点で問題を緩和できるのではないかと考えます。「IT化による、職務の簡素化」により、仕事以外の生活時間を増やし、生活時間に向ける体力を残せる仕事の仕方の模索で生活時間が増える事。合わせて「若い人への支援」で心・金銭の余裕が増え、将来に希望を抱けることで、恋愛に積極的な人を増やす事。（男性・女性の育児分担に関する授業などを義務教育に組み込むこと等も…）“産んで増やす”が5年後、10年後の根本的解決に繋がるのかなと感じます。また子供がいる家庭では“子供を無事に立派に育て上げたい”という気持ちが根底にあると思うので。心にゆとりを持たせる“のびのびとした環境”自立した大人に育てる“しっかりとした教育”もセットで考えていってほしい。また、そんな子供がいる家庭に移住してもらうには「女性の雇用増進(雇用は多ければ多いほど良い)・若年層の給与拡大」も必要なのかなと考えます。共働きが主流の昨今、未婚女性が日南町より都会の男性と結婚した場合、仕事も選べる給与も高い都会に出してしまう率が高いと思います。（どうしても人は仕事に合わせて居住場所を選ばざるを得ないので）日南町は林業・農業が盛んな町なのでその分野で、女性でも従事しやすい職の創出、情報発信にも追々力を入れて行くべきかと思えます。“日南町に住んだ方が将来に希望が持てる”生活を営んでいる人がそんな風に思える日南町にして欲しいと思います。</p>	<p>ご意見にある、「IT化による、職務の簡素化」は人口減少を背景に労働力不足が顕著になっている反面、「AI」等の発達に伴う省力化も現実化しており、今後日南町でも真正面から検討していく必要があると思われまます。</p> <p>また、「若い人への支援」は、少子高齢化の原因のひとつである晩婚化・未婚者の増加が、一方では「若い人への支援」が不足していることの現れかも知れません。今後とも検討が必要な事項であると考えます。</p> <p>「女性の雇用増進」は社会全体でも女性の活躍が広がっており、ご意見にある通り女性でも従事しやすい職の創出や情報発信は必須であると考えまます。</p> <p>『まちづくりアンケート』の集計結果や今回のご意見を参考にして検討を進めてまいります。</p>